

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語】

<p>書名 項目</p>	<p>NEW HORIZON Elementary English Course</p>	<p>2 東書</p>
<p>内容</p>	<p><児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか></p>	
	<p>○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫</p>	<p>・単元の冒頭では、「Starting Out」として相手意識を持たせ、単元の目標となる活動につながる動画があり、「英語を学びたくなる」ように工夫している。 ・単元の目標となる活動「Your Goal」の動画を二次元コードから確認できるようになっている。また、毎時の導入時、前回場面のダイジェスト映像が見られるなど「Your Goal」の活動を見据えて学習を振り返る内容が設定されている。</p>
	<p>○「思考の深まり」 ・児童自身の思考を広げ深める工夫</p>	<p>・二次元コードを使用した実写映像による登場人物の問いかけから、「自分が伝えたい」ことを考える工夫がされている。慣れ親しんだ表現を聞き取らせた後、ペアやグループでのやり取りの活動が設定されている。「Enjoy Communication」では、やりとりや発表の映像を見た上で、自分の考えや思いをペアで伝え合い、会話の内容を広げられるようになっている。</p>
	<p>○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</p>	<p>・各 Unit は「Starting Out」（慣れ親しむ）「Your Turn」（定着を図る）「Enjoy Communication」（ゴール活動）「Over the Horizon」（知る・広げる）で構成され、単元の最後に「Check Your Steps」（確かめ）が設定されている。 ・「Check Your Steps」では、発表活動を整理するために、思考ツールが用意されている。また、「CAN-DO の樹」では、学習で身に付けた内容を確認できるようになっている。 ・「Enjoy Communication」では、会話で気をつけたいことやふりかえりの記入欄が設定されている。</p>
	<p><教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか></p>	
<p>○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点</p>	<p>・「Over the Horizon」では、英語と日本語の違いに気付かせ、世界の文化を扱っている。 ・日本地図と世界地図のデジタルマップがあり、名所や名物の情報を活用した発表資料が設定されている。 ・扱うトピック・教材は、SDGs など今日的な課題を中心に、郷土教育、異文化理解等、多様なテーマとなっている。</p>	
<p>その他</p>	<p><資料の構成・配列や表記・表現> ○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・教科書の活動にリンクした単語が別冊 My Picture Dictionary として一冊にまとめられているため、自分の思いを表現できるような工夫がされている。 ・学習者用デジタル教科書では、デジタルワークシートに書いて保存したり、紙面のない「プラス単語」を確認できたりする工夫がされている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・チャンツでは児童がリピートしやすいようにささやきボイスが入っていたり、読み書き指導ではつまづきを防ぐために文字指導の映像アニメなどが設定されたりしている。</p>	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語】

書名 項目	Junior Sunshine		9 開隆堂
内容	<児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあては日常生活などとの関連を踏まえた身近なものになっている。また「お互いのことをよく知ってもらうために」など活動の具体的な目的が示されている活動もある。 ・児童が学習の見通しをもつことができるよう、各単元の冒頭では、右ページ上部に活動の様子などを動画で示した二次元コードや単元のゴールと見開きごとの学習のめあてを掲載している。 	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童自身が実際に伝えたいことを、英語を使って表現したり、相手が話す内容を推測して聞いたりする活動を通して思考を広げ深められるよう、各単元に「Let's Try」や「Activity」が設定されている。目的・場面・状況などに応じ、単元で学習する語句や表現を使ってペアやグループで伝え合う場面を設ける工夫がされている。 	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して、スモールステップで学習を進められるよう、バックワード・デザインで構成されている。第一時から毎時間、言語活動を積み重ね、レベルアップしながらゴールの言語活動へ導くような構造になっている。 ・学習した英語が身についたかどうかを確かめることができるように、年3回の「Let's Check」では、「Questions」と「Interview」が設定されている。 ・言語活動を行う上で大切なことや気をつけるべきポイントを、キャラクターを通して解説する部分がある。 	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs、キャリア教育、環境など、社会的な課題やその解決のための取り組みなどの題材を盛り込んでいる。 ・世界遺産や世界の行事等、「Around the World」には社会科に関連する資料が掲載されている。 ・児童が自分自身で学習内容を選択し、取り組むことができるよう、デジタル教科書にはネイティブスピーカーによる音声などの機能・コンテンツが搭載されている。 		
その他	<p><資料の構成・配列や表記・表現></p> <p>○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が国や地域に興味をもてるように、日本各地のゆかりある人物、名所、名産を数多く紹介する資料が掲載されている。 ・学習者用デジタル教科書には、書き込み機能や文字サイズの変更など、特別支援教育への対応を含めた機能が備えられている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の書体は、文字学習の入門期に適した手書き書体を使用している。また、シンプルなレイアウトやゆとりのある紙面にすることで、情報を読み取りやすくする工夫がされている。 		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語】

書名 項目	CROWN Jr.		15 三省堂
内容	<児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の構成が「HOP」「STEP」「JUMP」の3つの大単元に分かれており、児童が見通しをもって学習でき、単元の終末で伝え合う活動や自分の気持ちを表現する活動ができるつくりになっている。 ・「HOP」で単元のゴールとなる発表の様子がわかる二次元コードが用意されており、単元の学習に対して必要感をもって表現できるように構成されている。 	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「STEP」は、複数の「Lesson」で構成され、ペア・グループ活動から全体活動へとスモールステップで進む構成になっている。「Let's Talk」や「Let's Try」では、思考力を深めることができるように、児童に自分自身のことだけでなく他者のことを意識させる「やりとり」ができる場面を繰り返し設定している。 	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・Unitは「HOP（思いえがく）→STEP（出会う・慣れ親しむ・伝え合う）→JUMP（表現する）」から成っており、各「Lesson」に達成可能な小さなゴールが設定されている。 ・単元ごとにふりかえりを記載する箇所が設定されている。また、めあての提示からまとめ、ふりかえりまでを教科書で確認できるようになっている。 ・「JUMP」では、既習内容を使って、児童が思いえがいたゴールの姿を表現できるように、状況に応じて話す内容を考え、内容をよりよいものに改善できる活動が設定されている。 	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界のスポーツや伝統的な行事などが紹介されており、世界の国々について知識を深められ、他教科と連携が図れる。 ・場面絵や地図絵を見て状況をイメージしながら伝え合うことができる「Panorama」が設定されている。 ・「Hello, world」の題材では、世界に目を向け、世界に発信できる日本の文化や情報についても紹介している。 		
その他	<p><資料の構成・配列や表記・表現></p> <p>○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別冊のMy Dictionaryでは、楽しいイラストで語句を確認できるだけでなく、文字が4線で示されている。 ・学習者用デジタル教科書では、絵辞書以外のページでもイラストをタッチすると音声や会話を聞くことができる。また、ふりかえりで書き留めたことを一覧できるようになっている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもつ「HOP」では、「My goal」が示されており、単元のめあてに必要な事柄を自分自身で考えられるように設定されている。 		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語】

<p>書名 項目</p>	<p>ONE WORLD Smiles</p>		<p>17 教出</p>
<p>内容</p>	<p><児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか></p>		
	<p>○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫</p>	<p>・目標達成に向けて伝えたいことを具体的に考えさせる「Think」の記述によって、児童自身がゴールとなる発表の活動を明確に意識できるよう構成されている。 ・単元冒頭の見開きページでは、活動の様子などを確認し、目的・場面・状況や、活動内容をイメージできるように、二次元コードで動画を視聴できるようにしている。</p>	
	<p>○「思考の深まり」 ・児童自身の思考を広げ深める工夫</p>	<p>・単元の序盤では、音声や動画などを使って語彙や英語表現をインプットする場面が設定されている。単元中盤では聞くこと・話すことを重視し、児童が伝え合うことを中心としたコミュニケーション場面を設定している。読むこと・書くことに関しては、なぞり書きを中心にスモールステップで取り組めるように「Let's write」で取り上げている。</p>	
	<p>○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</p>	<p>・Lessonは単元の目標を意識させる導入から、聞く活動や口慣らしを中心とした活動、その後グループやペアでのやり取りを経験することによって、目標活動である「Final activity」につながるよう構成されている。 ・発表などで使用する巻末のワークシートは形が工夫されている。また、その裏面には自己評価をする部分があり、「Final activity」を振り返ることができるようになっている。 ・「Action!」では、目的・場面・状況に応じた言い方やコミュニケーションについて考えるコーナーが設定されている。</p>	
	<p><教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか></p>		
<p>○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点</p>	<p>・「Sounds and Letters」では発音に着目し、英語とカタカナ語の違いを聞き取る問題を提示している。 ・社会科に関連した「名所・名物マップ」や国語科の「お手紙」を英語で演じるなど、他教科の学びを活かしながら取り組む教材がある。 ・世界の生活を紹介し、日本と外国の違いや共通点を考える資料が掲載されている。</p>		
<p>その他</p>	<p><資料の構成・配列や表記・表現> ○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・ローマ字表の他、「Final activity」で利用できる語彙の補充のため、My Word Bankを設けている。また、活動用のシールや絵カードなどの付録も収録している。 ・学習者用デジタル教科書では、個の能力に応じた指導ができるよう、スピードを変えながらネイティブスピーカーの発音を繰り返し聞くことができるようになっている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・「Start together」で「外国語活動」のふりかえりができるようになっている。また、ポイントニングゲームなど「Let's try」で経験した活動に挑戦する場面が設定されている。</p>		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語】

<p>書名 項目</p>	<p>Here We Go !</p>		<p>38 光村</p>
<p>内容</p>	<p>＜児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>		
	<p>○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫</p>	<p>・各 Unit の始めに、場面・状況を明示している。めあての達成に向けた「逆向きの設計」で単元が構成され、ゴールまでの道筋としての言語活動を端的に記している。 ・児童が概要を捉えやすいように、二次元コードにより Unit 全体をアニメーションで紹介している。「Goal」では、「～のために...ができる」と目的を添えてめあてを提示している。</p>	
	<p>○「思考の深まり」 ・児童自身の思考を広げ深める工夫</p>	<p>・1つの Unit の中で、「漆塗り」のように既習事項に何度も触れることができるようになっている。まず、聞く活動やチャッツで表現に慣れ、既習の表現を加えて伝え合う活動が設定されている。更に、その Unit の重点的な領域の活動を行い、世界の映像を見て、コミュニケーションにおける見方・考え方を広げていく工夫がされている。</p>	
	<p>○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</p>	<p>・Unit は「Hop（概要を捉える）→Step1・2（映像・音声から場面や意味を理解して表現を練習する）→Jump!（映像を見て内容を工夫し Goal の活動を振り返る）」から成る。 ・4技能5領域ごとの到達目標（CAN・DO）が示されている。また、単元最後の「ふりかえろう」では達成度を把握し、学習意欲を高められるよう、自分の言葉で記述できるようになっている。 ・巻頭の扉で「英語が自分の考えや気持ちを伝え合う手段であること」「多様な人々との共生」「間違いを恐れずに言葉を学習すること」等、英語を学ぶ意味を伝えている。</p>	
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>		
<p>○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点</p>	<p>・他教科の学びを生かす活動「Link」が設定され、日本語と英語について言葉、外来語、語順等の違いに触れている。 ・国語科の詩や社会科の地域学習の知識を活用して、スピーチやパンフレット・ポスターなどの表現活動に取り組みさせている。 ・キャリア教育、社会科、総合的な学習の時間等に関連したテーマや SDGs、環境など今日的な課題について考えさせる Unit がある。</p>		
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞ ○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・本体から取り外せる Picture Dictionary があり、児童が使いたい語彙を示している。児童が書き写しやすいように、語彙が4線上に記されている。 ・学習者用デジタル教科書では言語活動の実際を動画で示し、音声の再生速度を変えながら見ることができる。また、デジタルマップにより日本や世界の名所・名物を活用できる。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・児童がスモールステップで表現できるように、学習した語句や表現をなぞったり書き写したりした後で声に出す活動「Let's write and read.」が設定されている。</p>		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語】

<p>書名 項目</p>	<p>Blue Sky elementary</p>		<p>61 啓林館</p>
<p>内容</p>	<p><児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか></p>		
	<p>○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫</p>	<p>・各 Unit の「とびら」で、各 Step の「めあて」や Unit の目標「Goal」を示している。また、各 Unit で行う活動例やモデル動画を二次元コードで確認できるようになっている。 ・イラストについて聞いたり話したりする「Introduction」、コミュニケーションの場面や内容を想像する「Watch the scene」により言語材料の活用場面や目指すゴールのイメージをアニメーションで提示している。</p>	
	<p>○「思考の深まり」 ・児童自身の思考を広げ深める工夫</p>	<p>・各 Unit は①英語表現に慣れ親しむ（Step1・2）、②その英語表現を活用してコミュニケーションを楽しむ（Step3）、という学習の流れになっており、様々な目的や場面・状況を経験しながら学習できるようになっている。また、児童が場面や状況に応じて、自分が言いたいことを「Word List」などの中から選択できるようになっている。</p>	
	<p>○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</p>	<p>・Unit は「とびら（言葉を使う場面に出会う）」→「Step1・2（語句・表現に慣れ親しむ活動）」→「Step3（慣れ親しんだ語句や表現を自由に用いる「Goal」の活動）」から成る。 ・目標をもって学習したり、振り返ったりできるように、巻末に「Can-Do List」が配置されている。また、「Look Back」では、Unit の目標を振り返ることができるようになっている。 ・「コミュニケーションに大切なこと」や「Tips」では、あいづちやジェスチャーの活用など、日常生活でも活かすことのできる内容を紹介している。</p>	
	<p><教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか></p>		
<p>○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点</p>	<p>・「コミュニケーションに大切なこと」では、伝わりやすい話し方や文章構成の違いを学ぶことができる項目がある。 ・「REVIEW」では、掲示物、広告、グラフなどから必要な情報を読み取る活動として「Challenge」を設定している。 ・「Did you know? プラス」では、社会科や道徳科などで学ぶ外国の文化や SDGs など、今日的な課題について紹介している。</p>		
<p>その他</p>	<p><資料の構成・配列や表記・表現> ○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・巻頭には Alphabet 表、巻末には Word List や Can-Do List が付いているため、自分の考えや思いを表現できるような工夫がなされている。 ・学習者用デジタル教科書では、資料の拡大や音声動画の視聴など、個に応じた学習ができるようになっている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・二次元コードでは、音声のスピード調整ができるようになっている。また、英文 Maker 機能では、自分で作成した英文を音声で再生することができるようになっている。</p>		